

- 融着型現地組立LCコネクタ -

導入説明書(0.25mm素線及び0.9mm心線用)



ETK1323094C

安全にお使い頂くために

本製品は安全性を十分に考慮して設計しています。しかし間違った使い方をすると、事故や製品の故障につながる恐れがあります。事故を防ぎ、安全にお使い頂くために次のことを必ずお守り下さい。

! 光ファイバおよび光ファイバ屑は小さく、先端が鋭利です。指に刺す、目に入る、と怪我をする恐れがありますので、取り扱いには十分注意して下さい。作業中は**安全メガネを着用**して下さい。

! コネクタ端面や光ファイバ端面を**のぞき込まない**で下さい。強い通信光が出ている場合があり、目を傷つける恐れがあります。通信光は目には見えませんが十分注意して下さい。

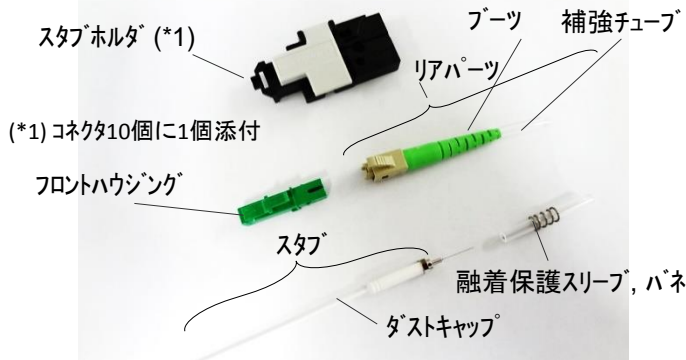
! 光ファイバの清掃に使用するエチルアルコールは引火性の液体です。**火気の無いところでご使用**下さい。また、粘膜に対する刺激作用がありますので、眼に入ったり皮膚に付着した場合は**清水で十分に洗い流し**て下さい。

! 高所作業の場合には、組立工具を落とさないように注意して下さい。

ご注意

1. 不適切な作業を行うと製品の特性に支障をきたします。本説明書及び、ファイバ融着機の取扱い説明書をご理解頂いた後、作業を行って下さい。
2. スタブから出ている光ファイバに触れないで下さい。
3. 製品は汚れまたはホコリに敏感です。ご使用するまで、パッケージから部品を取り出さないでください。
4. 製品の特性は光ファイバのカット面により影響を受けます。正常にカット出来るファイバカッタを使用してください。
5. コネクタ取り付け作業が完全に終了するまで、**ダストキャップ**は取り外さないで下さい。
6. 本説明書は、住友電気工業製融着機TYPE-201シリーズ及び住友電気工業製ファイバカッタFC-7Rシリーズを使用することを想定し製作されております。その他の融着機及びファイバカッタを使用する場合は、各製品の操作方法に従い作業してください。

部品構成



組立工具

必要工具類

ファイバホルダ



その他の装置及び工具類

融着接続機 TYPE-201eM4, etc.	ファイバカッタ FC-8R-M, etc.	ファイバストリッパ JR-M03, etc.	ケブラカッタ

推奨プログラム

融着接続機	ファイバ種	融着プログラム	ヒートプログラム
Type-201 シリーズ	SMF	SMF-Standard	Lynx
	MMF	MMF-Standard	
Type-71 シリーズ	SMF	SMF-Standard	Lynx
	MMF	MMF-Standard	

SMF : G.652, G.657

MMF : MM50(OM2), MM50(OM3), MM62.5(OM1)

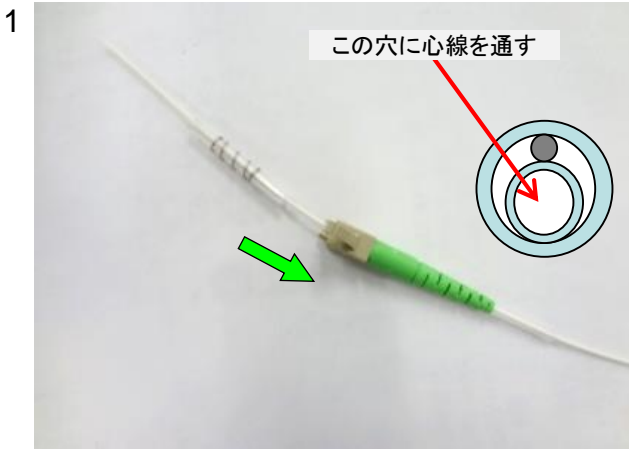
! 融着接続作業に先立って放電テスト*を行って下さい。(各融着接続機の取扱説明書を参照下さい)

*放電テスト用ファイバはキットに含まれておりません。

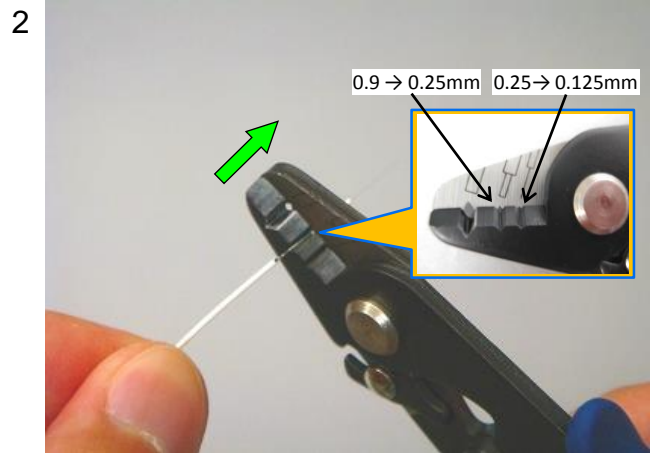
! フィールドでの使用ファイバ種を確認して下さい。

住友電気工業株式会社 機器事業部

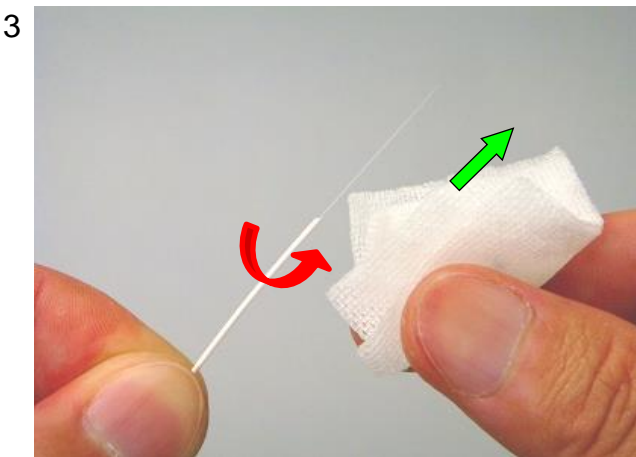
TEL: 045-853-7225, FAX: 045-851-1286



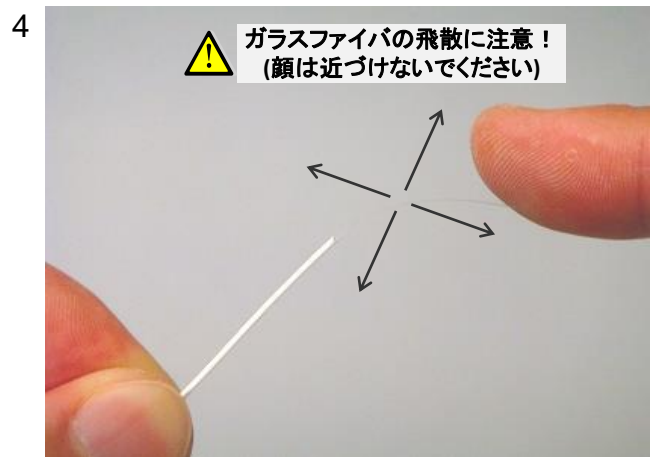
光ファイバ心線にリアパーツと融着保護スリーブを通す
(融着保護スリーブの向きは不問)。



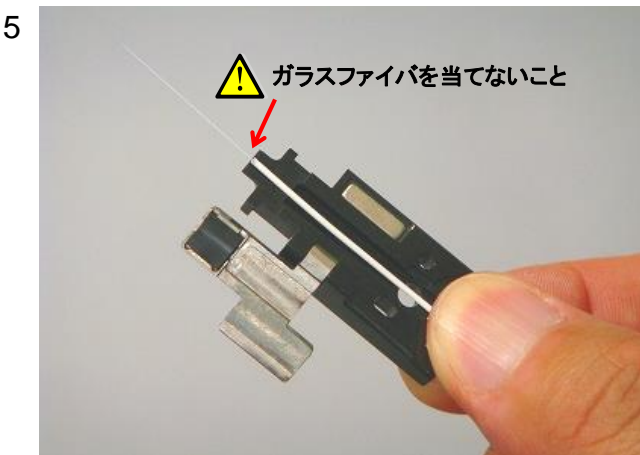
ファイバstripperを使用して、光ファイバ心線の被覆を
35mm程度除去する。(数回に分けて除去する。)



アルコールを含ませたガーゼで、ガラスファイバ表面を清掃
する。1方向を清掃したらファイバを回転させ、円周方向に全
周を清掃する。

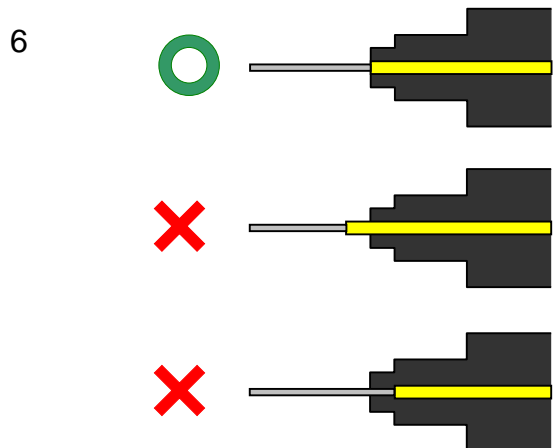


指先でガラスファイバを数回曲げて(前後左右にそれぞれ
30°程度)、ファイバが折れないことを確認する。



被覆の剥き際をファイバホルダ先端に合わせて、ホルダに
光ファイバ心線をセットする。

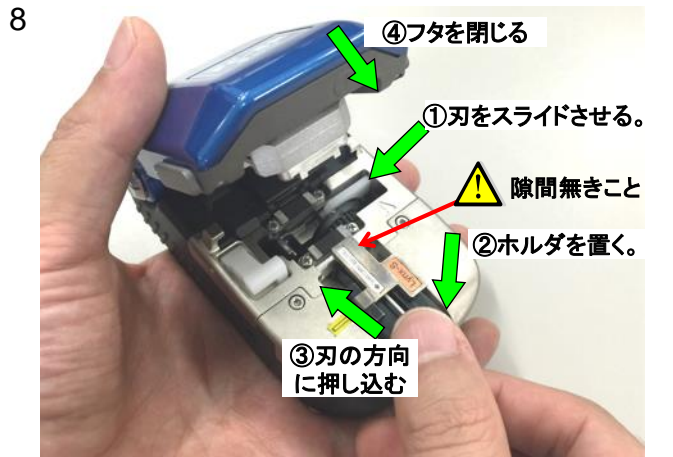
⚠ **ガラスファイバをホルダに当てないように注意して下さい。**
(硬い物が触れるとファイバ表面に傷が付き、ファイバが
折れる場合があります。)



光ファイバ心線の被覆位置

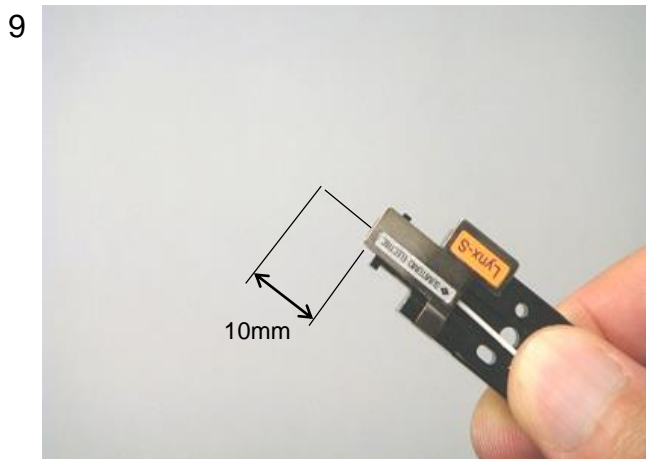


光ファイバ心線の被覆位置を確認し、ファイバホルダのフタを閉じる。



ファイバホルダをファイバカッターにセットし、ファイバを切断する。

※ファイバカッターのゴムクランプおよび刃は、定期的に清掃して下さい。



ファイバが正しく切断できた状態



融着機の左側に、ファイバホルダをセットする。

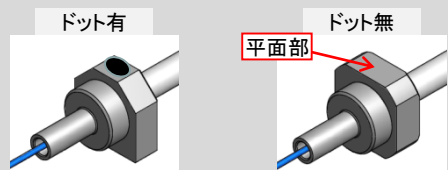
⚠ ガラスファイバを融着機に当てないように注意して下さい。



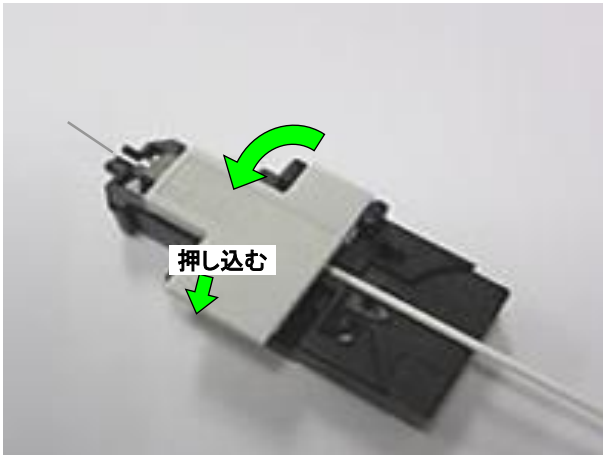
パッケージを完全に開封して、パックから、スタブを取り出す。



(*) スタブの形状によってドットマーク(●)の無いものがあります。その場合は金属部品の平面部を上に向けてセットして下さい。なお、平面部であればどの面でも問題ありません。

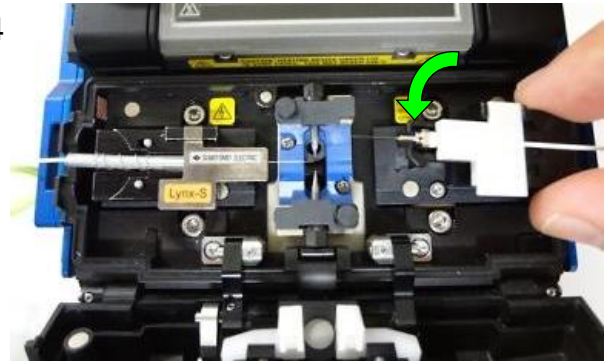


13



フタを閉じて軽く押し込み、スタブを固定する。

14



融着機の右側に、ファイバホルダをセットする。



ガラスファイバを融着機に当てないように注意して下さい。
ガラスファイバが正しいV溝に乗っていることを確認してください。
なお、4心ファイバ対応機では1番溝※、8心ファイバ対応機では3番溝、12心ファイバ対応機では5番溝にファイバが乗っているのが正しい状態です。
※V溝はヒータ側が1番溝となります。

15



融着機の風防を閉める。

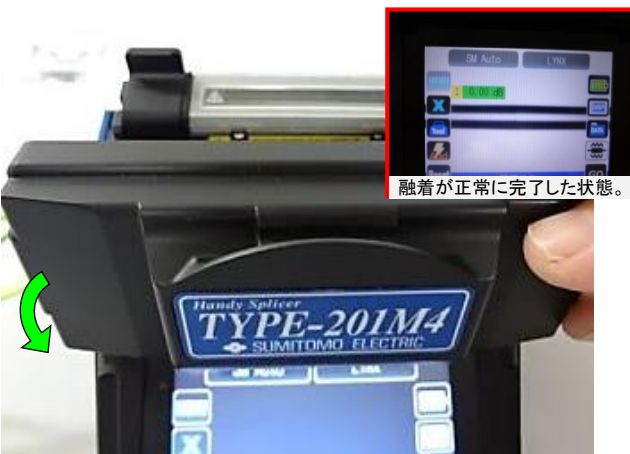
ガラスファイバが正しいV溝に乗っていることを確認してください。
(詳細は16項をご覧ください)
風防は静かに閉めてください。

16



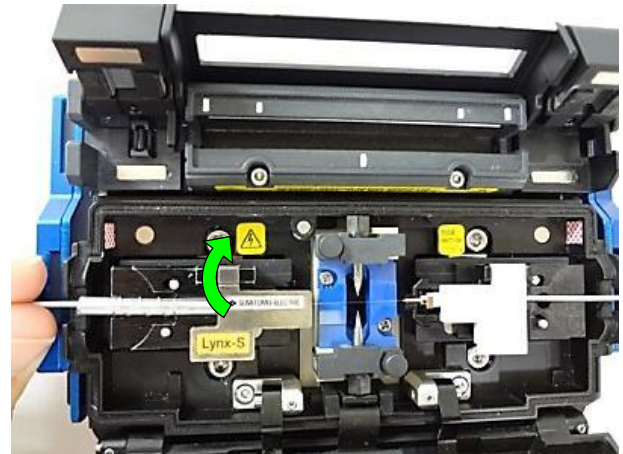
Start アイコンを押す。
プレ放電後にファイバの検査が行われ、融着が始まります。
(融着機の設定により、操作が不要の場合があります。
詳細な操作方法は各融着機の取扱説明書をご参照ください)

17



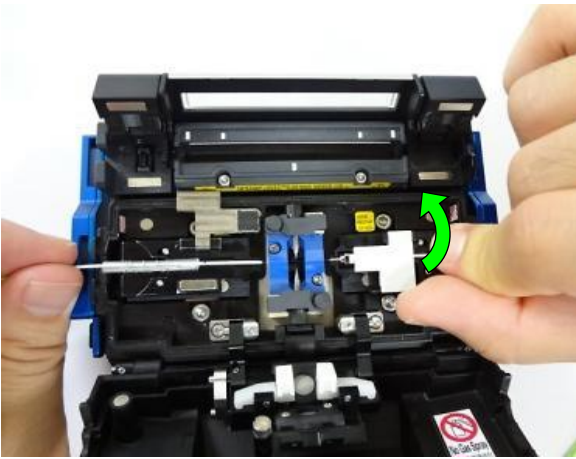
融着接続後に、融着機の風防を開ける。

18



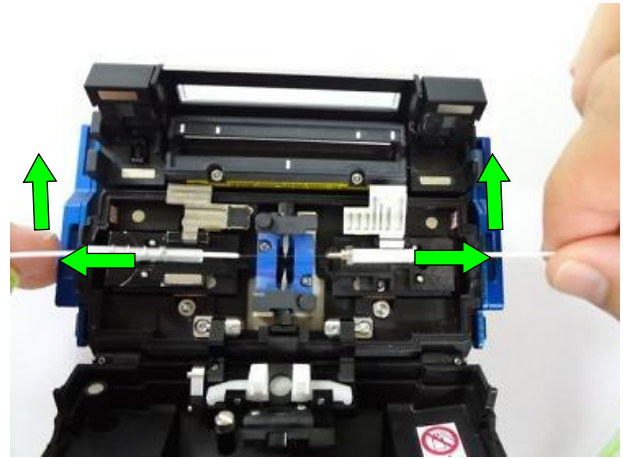
ブルーテストが完了したのを確認した後、
左手で光ファイバ心線を軽く押さえながら、
左側のファイバホルダのフタを開ける。

19



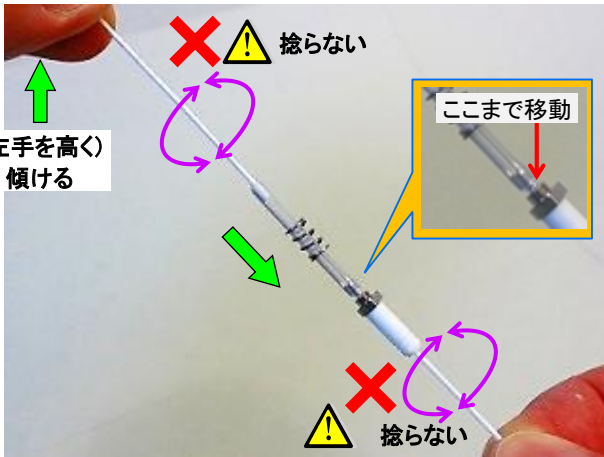
右側のホルダのフタを開ける。

20



光ファイバ心線とキャップのヒモを持って、左右方向に軽く引っ張りながら持ち上げる。

21



左側を高く傾けて、ファイバ保護スリーブをスタブ側に滑らせて移動する。

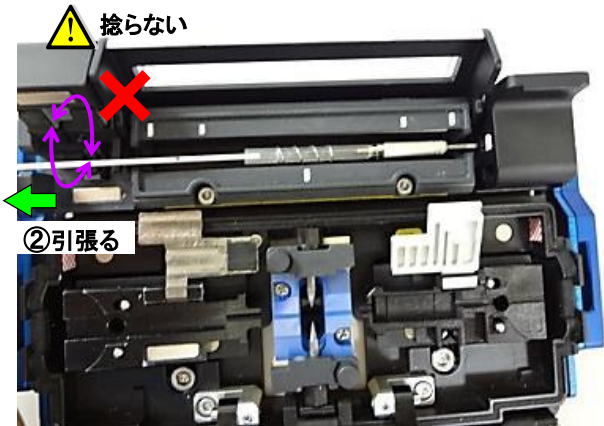
! 心線やヒモを捻らないで下さい。融着点あるいはガラスファイバが傷付き、故障(断線)する恐れがあります。

22



スタブ側を右側のクランプに入れて、ヒモをクランプする。

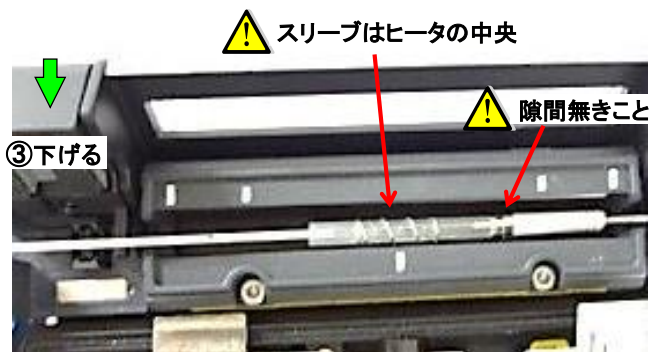
23



光ファイバ心線を左方向に軽く引張る。

! 心線やヒモを捻らないで下さい。融着点あるいはガラスファイバが傷付き、故障(断線)する恐れがあります。

24



光ファイバ心線を左側のクランプに入れて(下げて)、心線をクランプする。

! 融着保護スリーブと、フェルールとに隙間の無きことを確認して下さい。隙間がある場合は先の細い物を使って、スリーブをフェルール側に寄せて下さい。

25



ヒータアイコンを押す。
ヒータのスイッチが入り、融着保護スリーブが加熱される。
(融着機の設定により、操作が不要の場合があります。
詳細な操作方法は各融着機の取扱説明書をご参照ください)

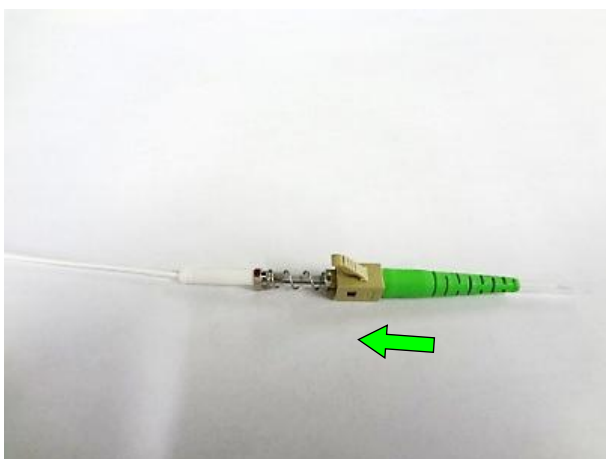
26



加熱終了のアラームが鳴ったら、両方のクランプを開けて取り出す。

! スタブ及び融着保護スリーブは高温になっているので触れないようにご注意ください。また、以降の作業は融着保護スリーブが十分冷却されてから行ってください。

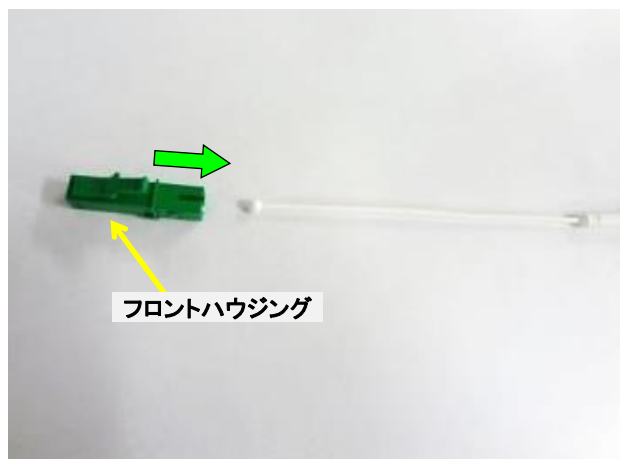
27



予め通しておいた部品をフェルールに寄せる。

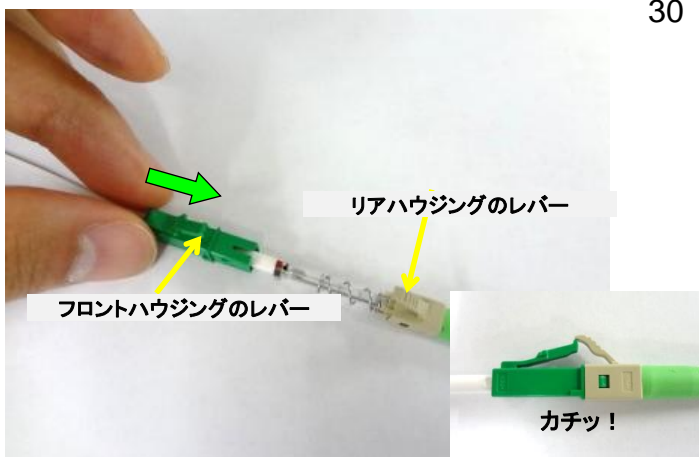
! この作業は、フェルールおよび融着保護スリーブを十分冷ましてから行ってください。

28



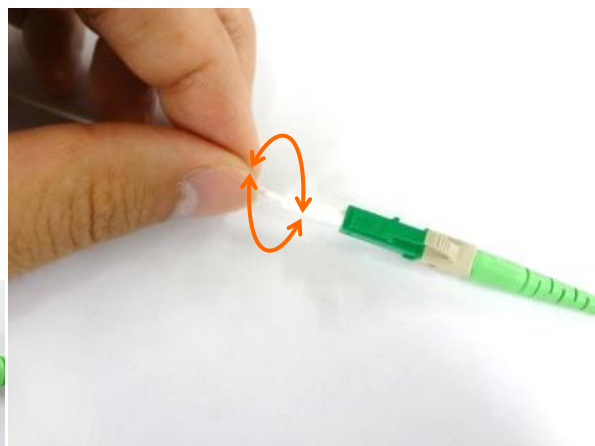
フロントハウジングをスタブ側のヒモに通す。
(フロントハウジングの向きは写真の通り)

29



フロントハウジングのレバーの向きとリアハウジングのレバーの向きを合わせて、フロントハウジングとリアハウジングを嵌合させる。(カチッと音がするまで)

30



キャップのヒモを切る。



完成
キャップを外して、お使い下さい。